

令和4年度 特色ある日常の教育活動

土庄町立土庄中学校

全校で取り組む「朝の読書」と「朝ドリル」

朝の読書（各学級学期に一度の図書館利用）

【目的】 落ち着いた気持ちで学校生活を始め、本に親しみ、読書習慣を定着させる。

【考え方】 みんなで、毎日やる。好きな本を読み、読書を楽しむことを大切にする。

朝のドリル

基礎学力向上のために、毎朝、25分間の朝の時間に、全校生が「朝の読書」に続いて基礎的なドリル問題に取り組む。

確かな学力を育む少人数指導

【目的】

少人数による個に応じた、きめ細かな指導で学力の向上及び定着を図る。

【実施方法】

3年の英語において1学級2展開の習熟度別授業を行う。

個のニーズに応じた特別支援学級の授業

特別支援学級の授業は、一人一人に応じた授業形態で実施する。2年の病弱学級及び3年知的学級の生徒は、個別の授業を行うことで学習内容をより確実に身に付けられるようにする。1・2年の知的学級及び自閉・情緒学級生徒は、自尊感情とコミュニケーション能力を高めるために複式で行う。多様な進路選択に向けて、生活単元学習・自立活動の工夫・充実を図る。

体験活動・生徒会活動の活性化

【目的】

持続可能な社会を形成するための意欲と実践力を養うとともに、ふるさとや自分のよさの再発見を図る。学校や地域を改善していくための方法や手段の獲得を図る。

【実施方法】

- ・総合的な学習や学校行事をとおした、ふるさと学習を実施
- ・SDGsの理念を大切にした体験学習の実施及び一人一人の意見が反映される生徒会活動の推進

全校生で盛りあげる「あいさつ運動」と「体力づくり」

【目的】

一日をさわやかな挨拶からスタートさせ、友だちのよさや気持ちを推察できる心情を育む。日々の運動の積み重ねにより、体力の向上を図る。

【実施方法】

- ・生徒会活動として、正門での「あいさつ運動」の実施及び土小児童会とタイアップした取組の推進
- ・体力向上プランに基づいた体育活動の実施

互いを認め合い、支え合い、高め合う「こころのつどい」

【目的】

人の思いを聴くことで知り、そのよさを認めるとともに、素直に自分の気持ちを表現し、互いを高めていく心情を培う。

【場面】

- ・各学級、学年、全校で計画的に「こころのつどい」を実施
- ・土庄町人権フェスタで保護者・地域へ発信

心を磨く「無言清掃」

伝統を受けつぐ部活動

小中一貫教育をめざす教育活動